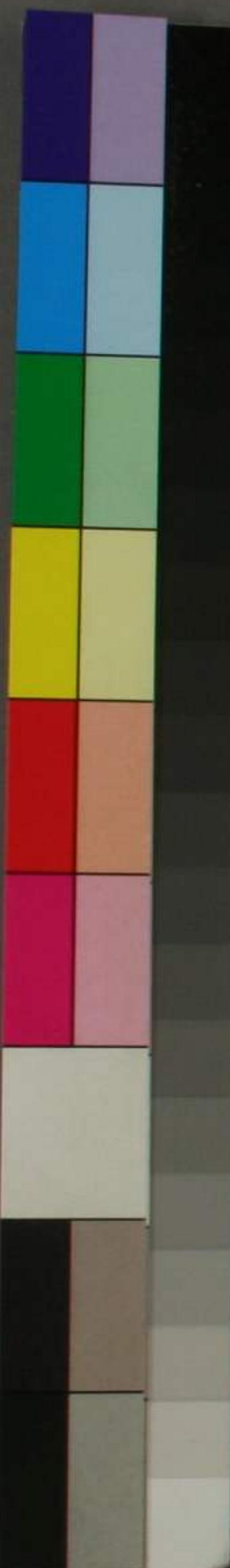


• 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

青山
御流 活花手引種後篇 五

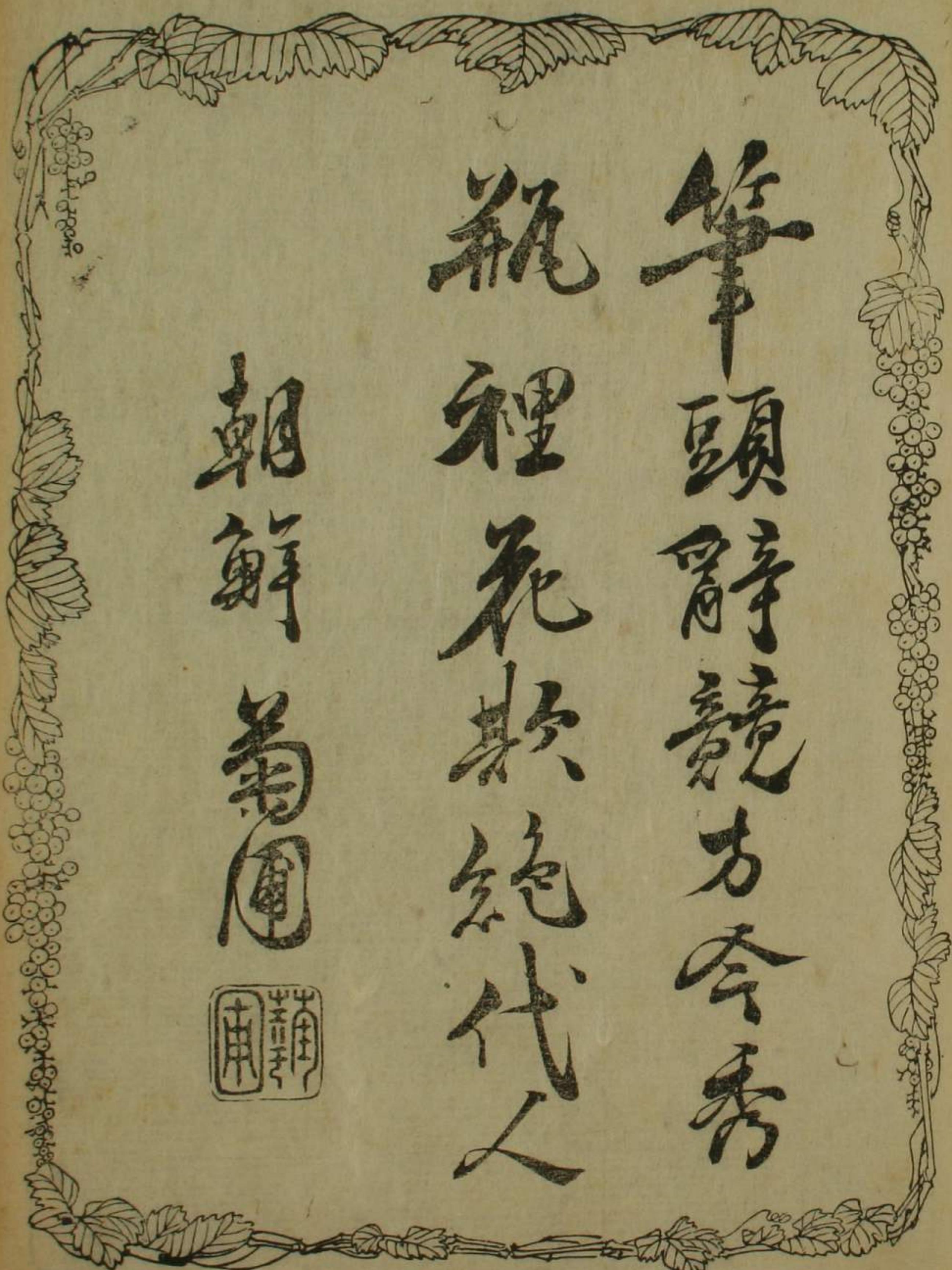
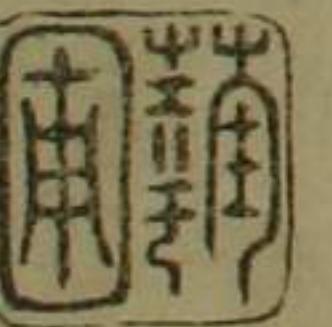
多9
2848
10止



門多9
2848
卷
10止

筆頭醉競古今秀
瓶裡花欺絕代人

朝鮮菊園



嗚呼器哉這升筒也奧卯某雅人

者乞而申秋九日

大燈國師五百年遠傳頓修

抑奇花備

敕仗尊官高笑辱山傍諸祀乃
紹錦其年彭云

一竿尊者升泉深國師花
豐臺今朝色千殊簇彩霞

西半脇月

前大陸此事空



山茶白三花



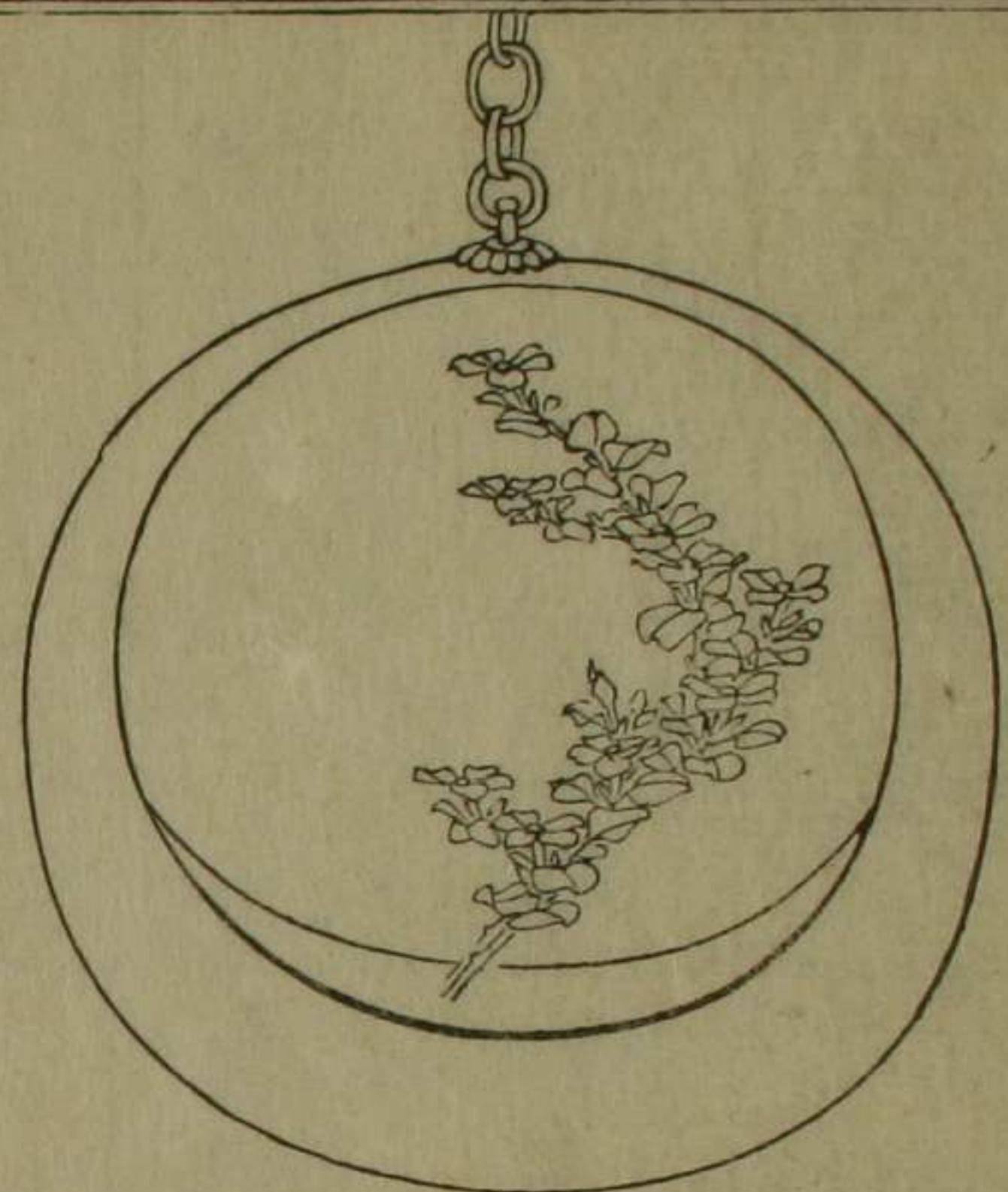
天保七年丙申初夏於紫野大德寺
塔頭松源院勅使之間捕之

采滴亭蘭溪
通稱 奥村勅使藤原金良

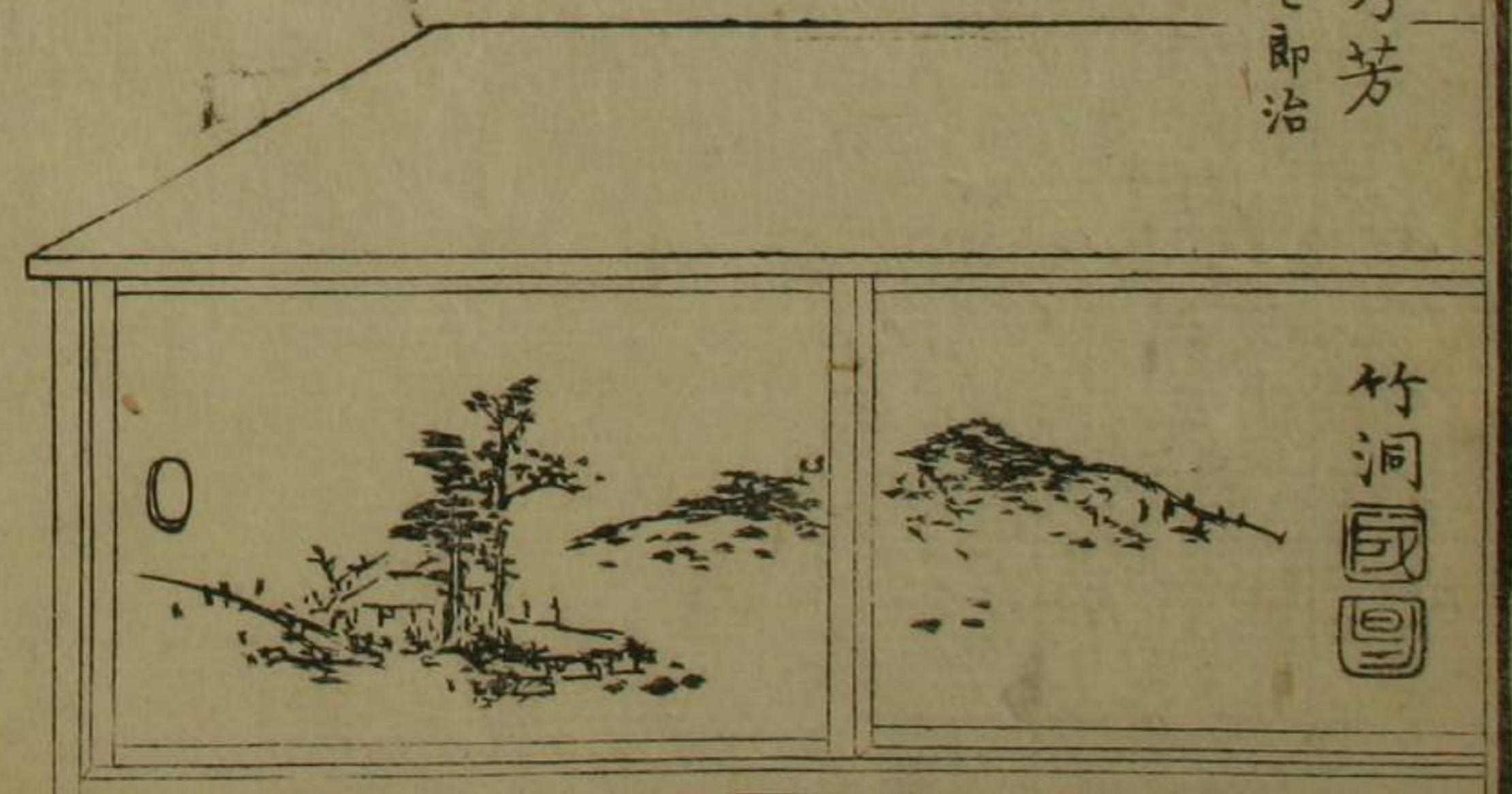
紅素馨

壽陽齋秀芳
通稱永松七郎治

竹洞圖



月宮半有玉田地看處
姫城森草花 楠波源圓



秋風の姫うはみすかむれのうよせ
か代えのうへ花すまきが



閑右齋荷月
通稱 民部卿學念

嘉永二年己酉八月挿於
華頂山大書院

芍藥 十一花

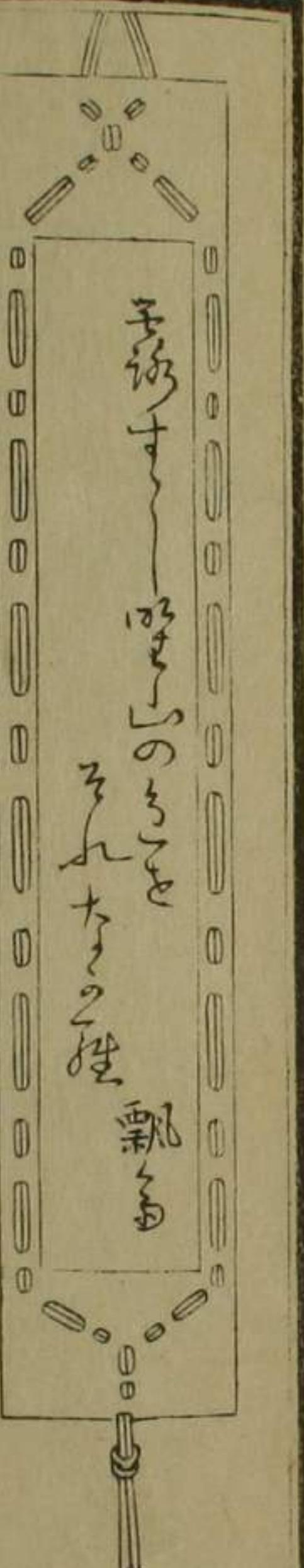
嘉永元年戊申四月捕於
本因寺大客殿上檀

澤芳亭和約
通稱 久成院日昇



押小路大外記師身朝臣

見もぬは富う為せん
いなやくちをゆきま
教よくらが 絶妙



竹器銘 橋月



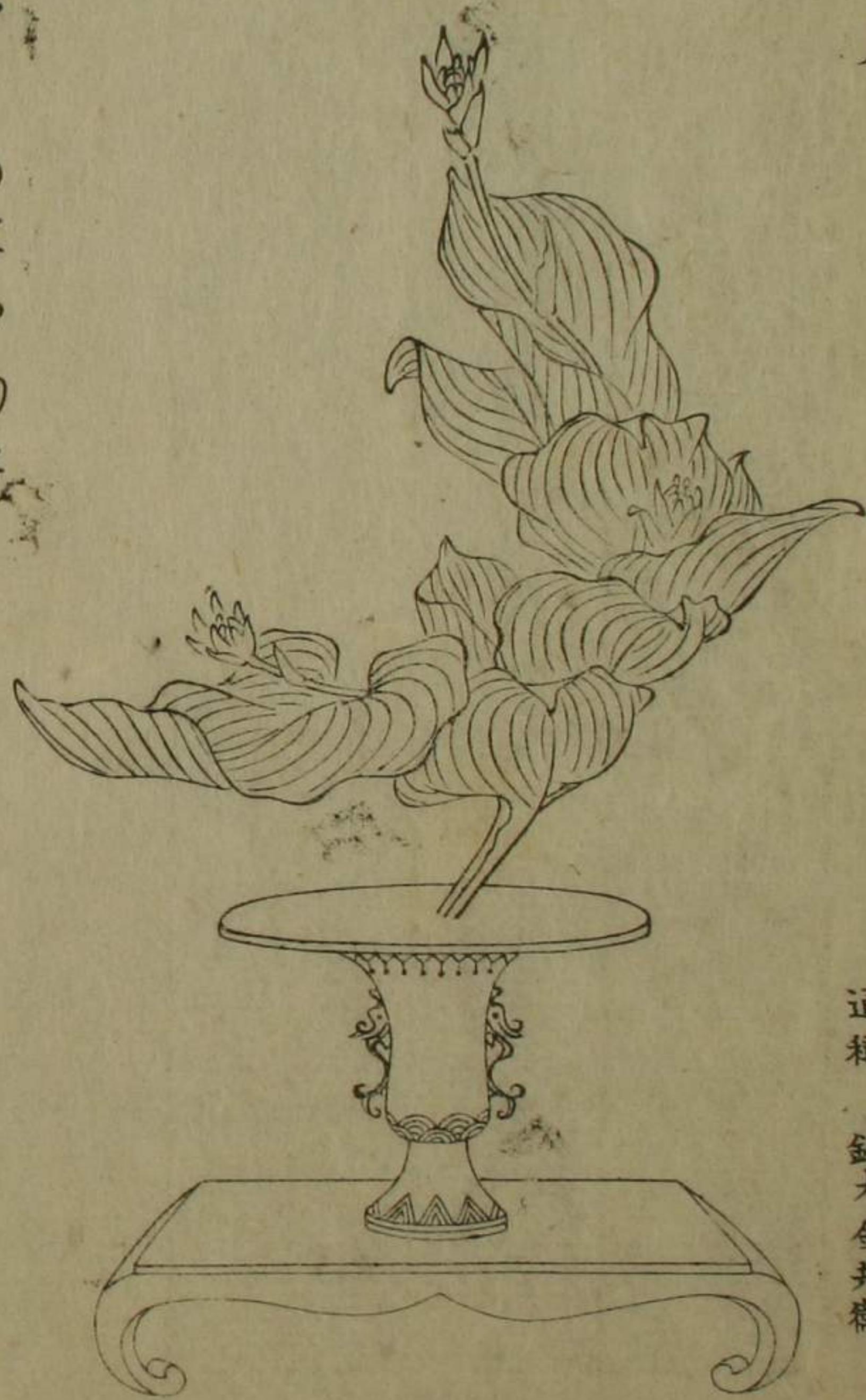
閑月齋榮雅
通稱 北川佐兵衛

天女花
瞿麥

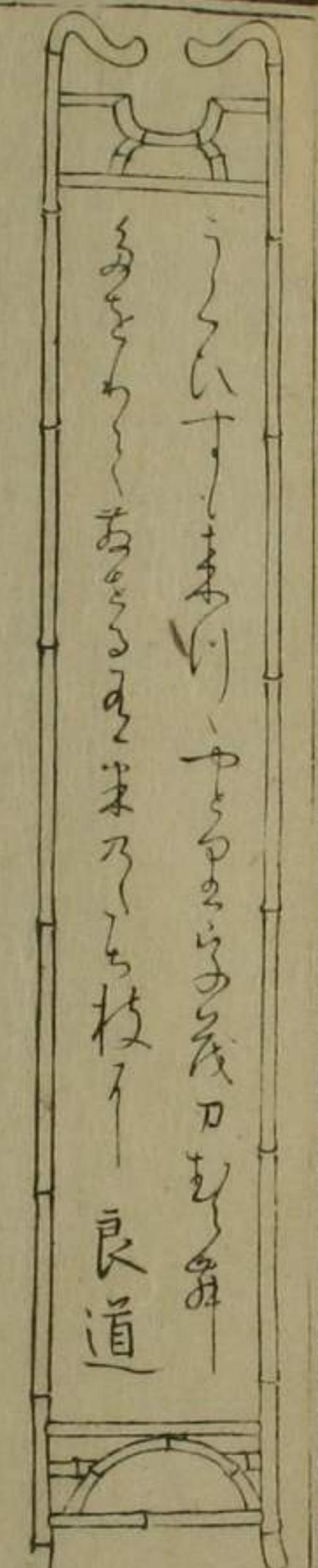
四

玉簪花 九葉三花

章雲齋青雅
通稱 鈴木金央齋



詠てあにひうす
とせゆみくす
玉とふりむのすとて葉秀



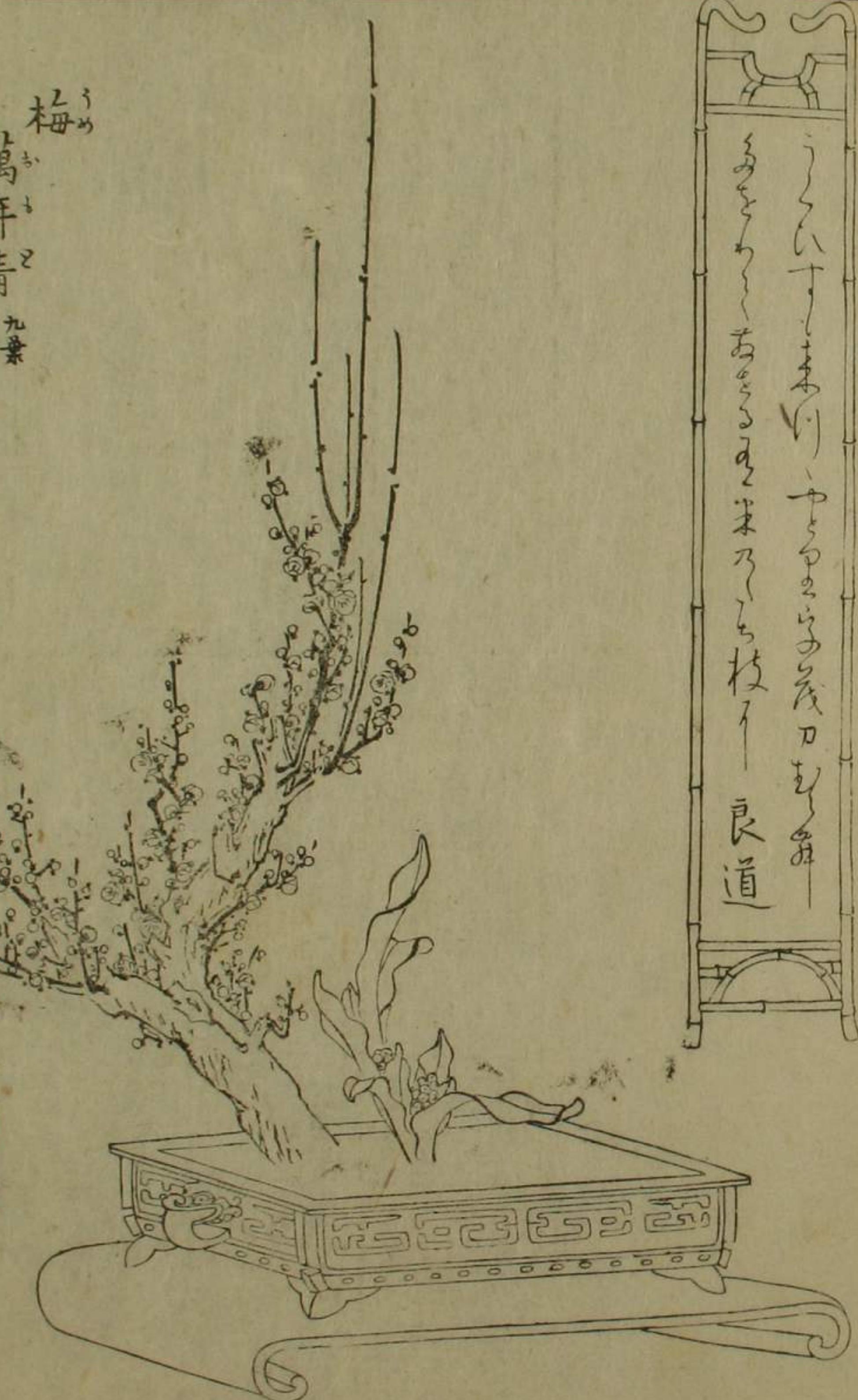
梅

萬年青 九葉

嘉永四年辛亥正月 捕於
華頂山大書院

秀永齋湖月
通稱 西田莊左衛門

近江國西沼浪



冉香齋醉花

晴月國男

沼尾

一藤原光紹



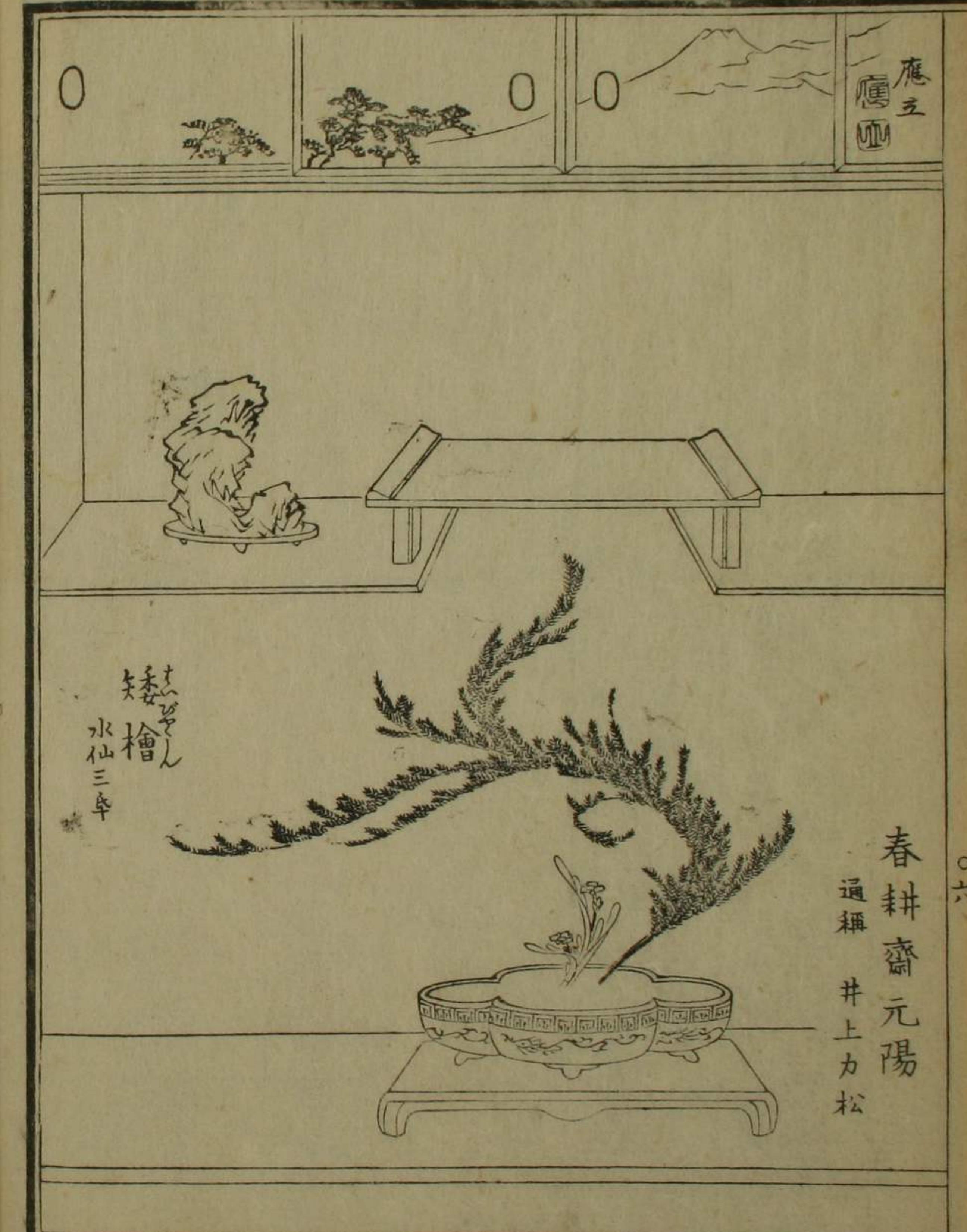
東園宰相中將基貞卿

參議左憲壽友

佐少卿
充風叟
有乃門志
玉津老人
心

溫牡丹

東園宰相中將基貞卿



春耕齋元陽
通稱 井上力松

○六

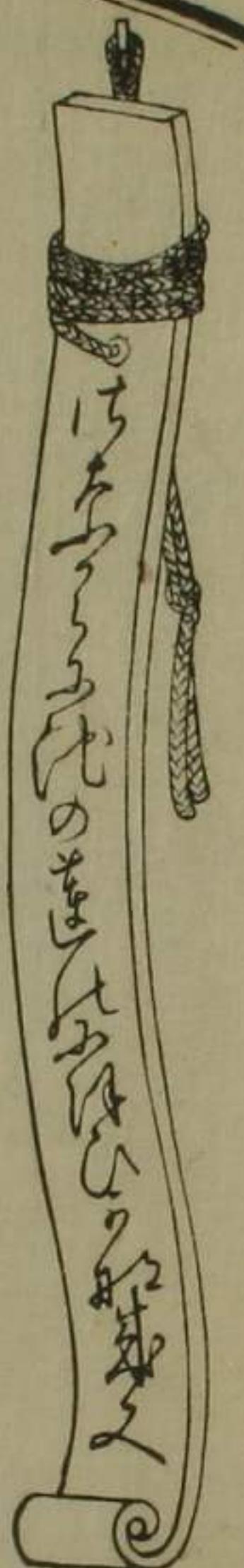
矮檜
水仙三卒



美昇軒梅月
通稱 北川權次郎



かくて丁そちもはまをせす
あよの花のまほひの葉之
あらむにえ乃はす 美昇



應文寫属



蓮
二花
五葉

嘉永七年甲寅閏七月挿於
六條枳殼御殿臨池亭

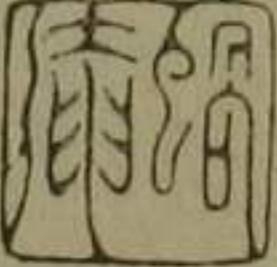
壽蓬齋仙雅
通稱 吉田伊三郎

一葉さらん十三茎



葉靜帆ホウセイボウ 靜帆ホウセイボウ
鳳扇葉ホウセンイ 扇ホウ

木文



なごやかな秋の
色よ秋うきて
ふちまくらうねや
まれて免ひむ



落葉松ハドマツ
同高ドウコウ 五年

○七ノ后

榮松齋ヨウソンザイ 峰雅ヒラマツヤ
通稱ドウショウ 八木佑兵衛ヤシキ ユイエイ

八

紅情齋綠意
通稱 稲田忠藏



茶梅花
菊黃十九作

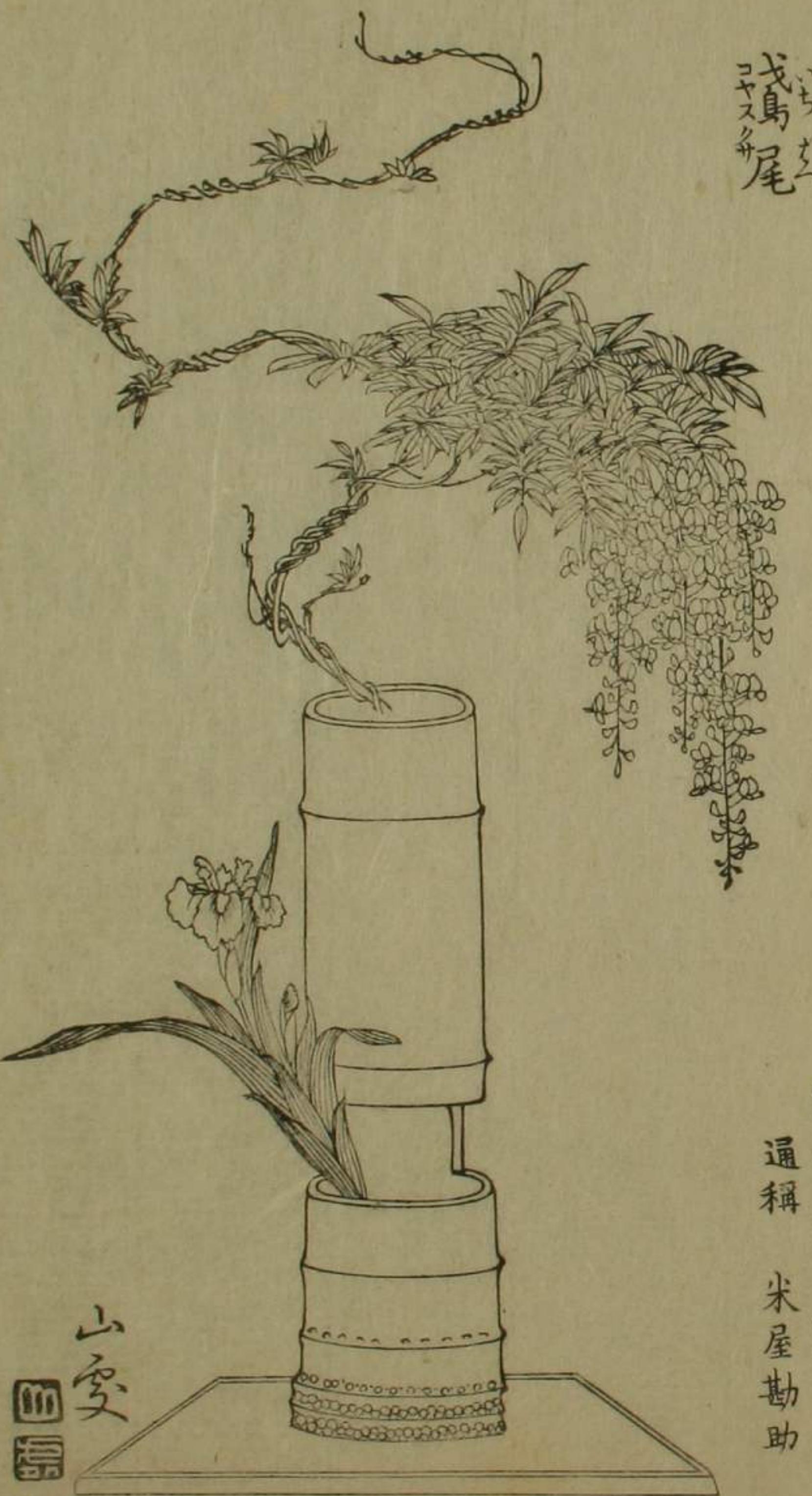
器五郎三郎作
錫春軸臺無双作

好々とこゑて
よゆの
かのえれ
五仲菴有聲

筑前國遠賀郡山家

曉雲齋花濤

通稱 米屋勘助



白藤
竹器銘寿星
戈鷺尾

竹器銘寿星

山家
保明

○活花手引

卷之五

○九

藏六葦義貞

通稱 前川四郎次郎



宿年宮跡

良英

す波不あも

さくらんぐ

湯代のまゆづを

くくものゆく

嘉永四辛亥四月朔日於
東山雙林寺文阿弥會遊打之圖

金山 夏之瀧



秋葉有佳

拾陶清々



海仙



壽僊齋瘦石

通稱

赤尾半左衛門

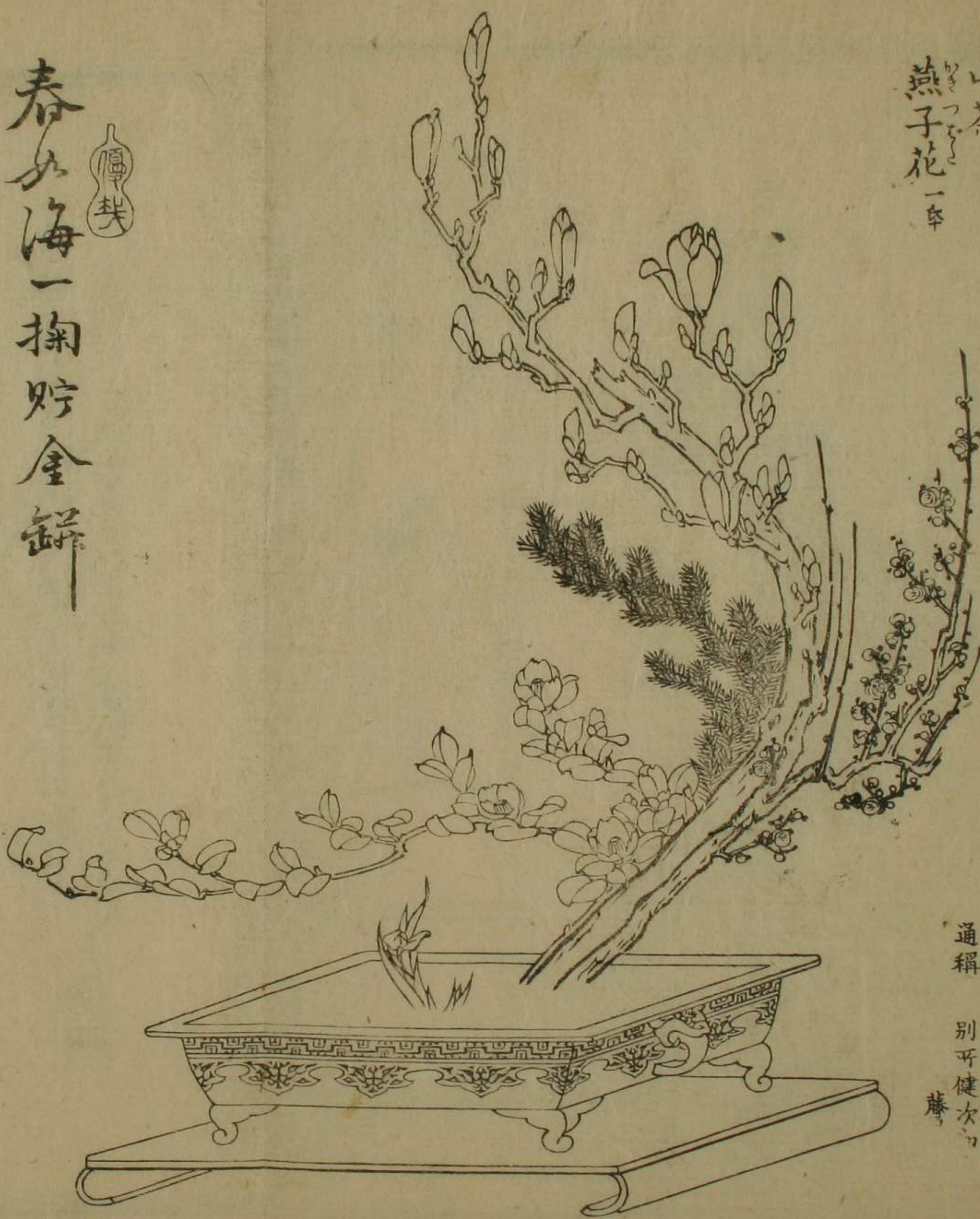
玉蘭 紅梅 五粒松

山茶 本阿彌白

燕子花 一卒

窓月軒凌雲

通稱 別号健次ワ
藤



鳴鶯

春如海一掬貯金鑄

如意易醒葦易忘

情多惜玉難重解
夢語隔多角触

夢江南調

月洲居士

圖



梅

大和國郡山

蓬月齋花譜

通稱 宇野源之助

ももほくひはく
五味乃子

三浦さくらみの河をもよおへり
尔むとくとくの花のすま人 正切



南天燭
寒菊

香風軒翠煙

通稱 春日龍彌太郎

器 青磁七官 天龍寺所藏

柳
五鬚松
菊
十輪



香泉軒子篤
通稱 安村吉兵衛

嘉永三年庚戌九月洛西嵯峨天龍寺
開山夢窓國師五百回諱法會時挿之
於方丈書院

一雙幽色出凡塵
數粒株株煙二人
此教窓闌細韵琴
聲長洋讀書人

玄惠

印譜

印譜

射干
ひちぐさ
五草

筑后州柳川
一滴齋信城
通稱 真勝寺



ひあくひや
花をいきす
夕の世をすまし
淨き

物をすまし
とけりとてすまし
もともとくもゆき
ひや美親



八角金盤
ひやくせんばん
燕子花 櫻三草

開雲齋野鶴
通稱 森本武助

一葉十五葉

花器 江都渡雲齋鑄



玉松齋眉山

通稱 植村駒之助



人あらはしのまふるを今
うむまきおほきの下深乃
橋



彼岸櫻

花器 龍文堂鑄

桂松齋花友

通稱 長谷川與四郎

白桃 紅桃

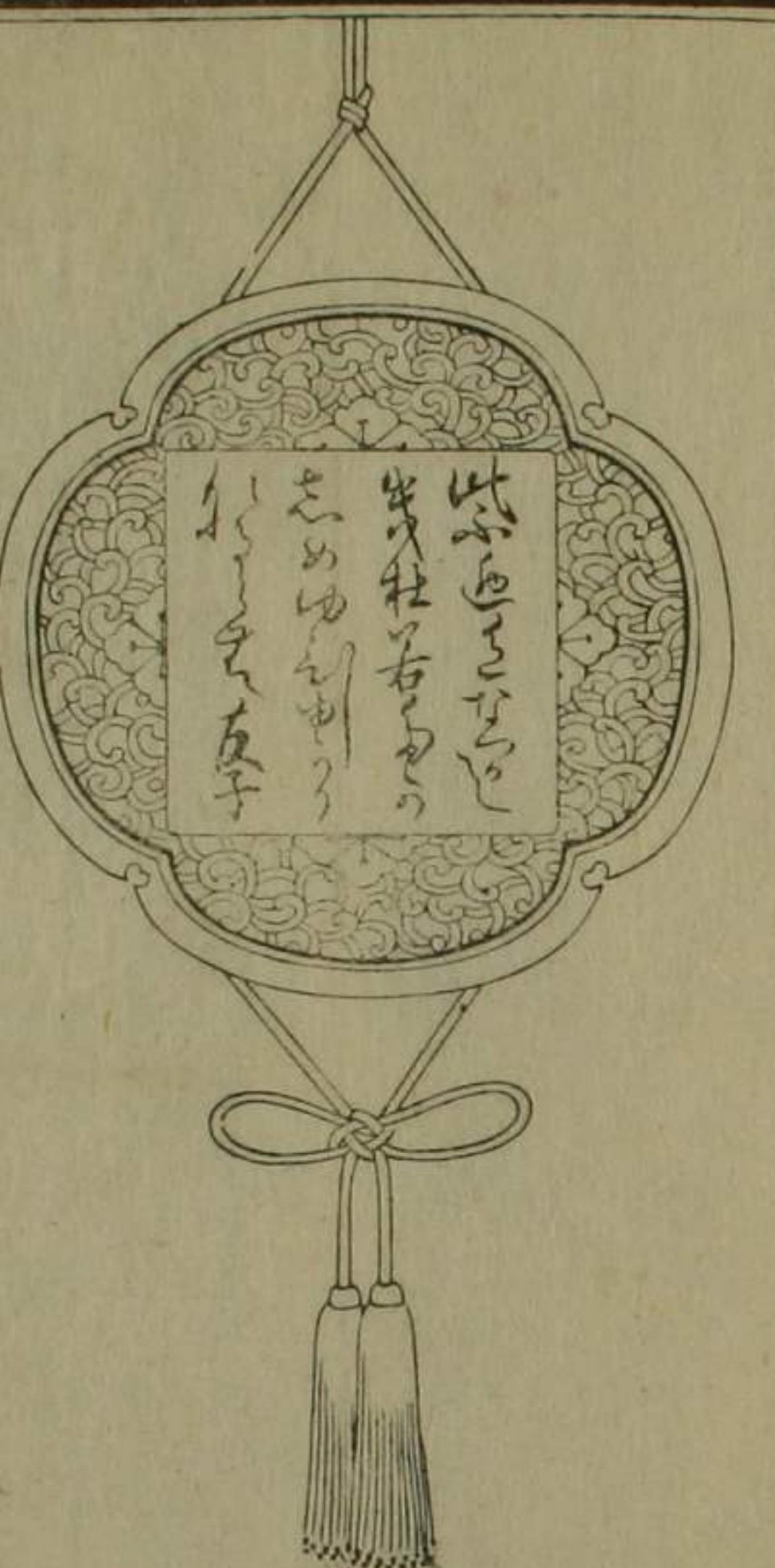
竹器銘鷹門

大和國奈良
壽春齋香雅
通稱 高木又兵衛方義



三千歳廻春者波留計
志從今年百歡農數乎
嘉曾返年 藤原明忠

卷



燕子花 三年
花器 山田無雙譜

松關齋如友
通稱 井上茂左衛門

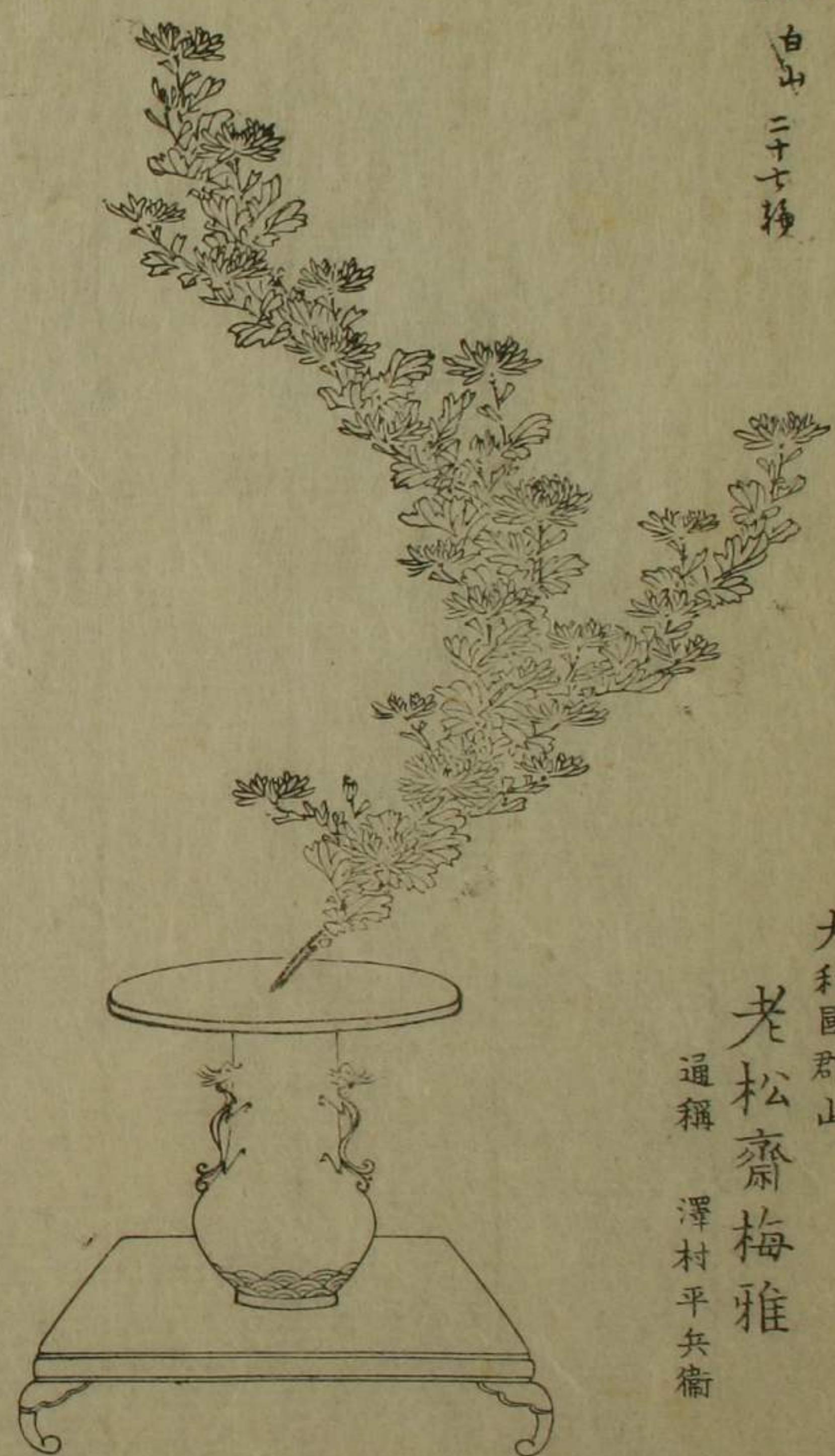
菊島二十種

大和國郡山

老松齋梅雅

通稱 澤村平兵衛

○十六



なれどふうてひよもくそん
のあらわゆさるす

廣陸

懶逐秋時去出家
老來博は弊を追慕
三宿難難處風雲より
陰色人對隱處も

郡山

玄林堂

香山

枕不ハちつても爰ニシケルまく
あやめはるゝ一さまでれをれを原

○十七

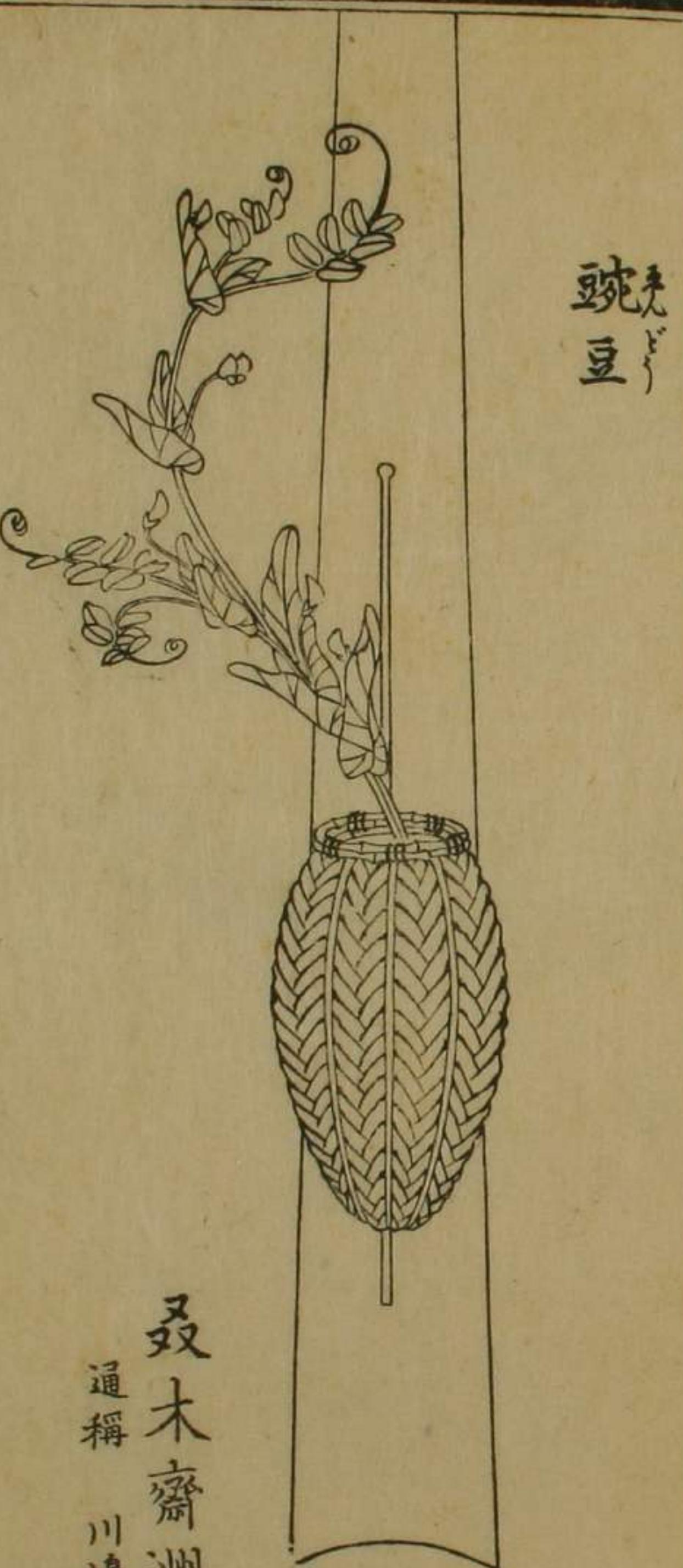


花菖蒲 七草

大和國奈良

壽周齋道雅

通稱 小野重右衛門

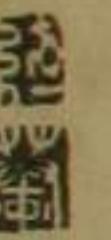


豌豆

双木齋洲雅
通稱 川嶋直次郎

奪將化機手搖曳美風姿只
藉一瓶水生生無盡時

張氏紅蘭



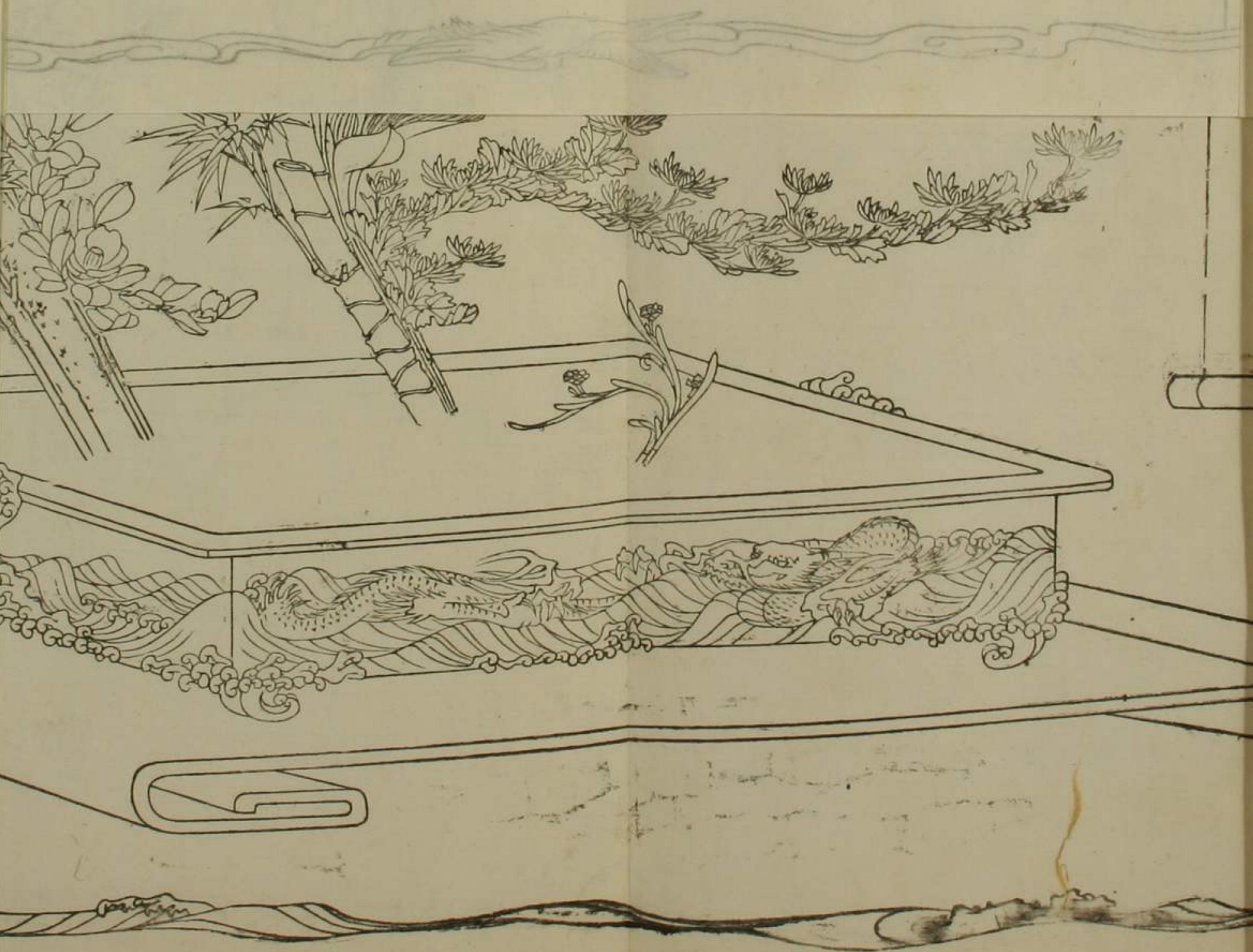
鴻臚館

○活花手写

卷之五

香山寺
春日寺
茶田野林

山海經集會記



松風閣
茶田水聲
圖

圓

○十七

香川正三立兼觀即

嘉永四年辛亥初冬抑菴
園御殿御座之間



山城國准御會頭
春月亭 紫田濯柳

器
燭龕堂鑄



人之心持りあふ事と曰く。たまつゝ
おりまき園内にあつられてつき
てそりてのふいとめつてゐにあく
くを承くおほえゆて、近之

世中かくとくは奈へてうる時大
きとくわざあるもつてすみふ奈へ
佐、妻采采園ふ色指教無を園
藝者千種

鑿石

草木の正字異名等、籠、園中は傍よ標出す。まぢや
因位の猥雜せむじとぞ憚アテ左ノ贊記

賢木サカキ
古事記坂木日本書紀龍眼木漢語柳本基但倭字多々

鶯宿梅アシキメイ
記紀貫之の女梅の木をとくを歌トミリナシ此名あふ歟
又一説ア和泉式アのすとすと非なり

山茶ツバキ
本艸書紀及ト和名抄ホニ海石榴を書いて豆波木ト訓俱ニ非ナリ海石榴を朝鮮ノ口也ナリ椿と書奉

菊キク
和漢通名又舊國史日本後紀ニテバカマの歌アリは菊乃行トハリ鉢延屋翁の説アリ
和名翁唐山翁白頭公日精草ウツギ御モウ御モウ一弔萬華女節周盈女莖更生傳延年金莖

竹タケ
本艸一名此君
竹タケ
綱目和名千尋草千尋草江南竹江南竹一名雪竹南竹

萬年青オモト
新編一名莖千金字烏木毒萬年春萬年草老母草壽草壽草

絲柏ヒノキ
漢名花戸玉求絲草絲草
未詳又櫻落ひとくノハ同類別種ナリ

燕子花

漳州

杜若と書く誤りなり杜若ハサブニヤウガ一名杜衡神農と云ふも俗ニシテ生

萬葉集

恒津旗とある縣居翁を借字ナリト言フ又春滿と翔燕花の義ナリ

萬葉集

木裏名集ハ顏吉花ト云々又伴信友の考エ畫附花の義ナリ

蘭

本艸

上代ノ蘭ト不知波加末ト言マ

蘭

本艸

今ノ蘭トリ経ナリ

蓮

本艸

ハチスモ蓮房諸竇ニ似フ故ニ名トす又累て波湧ハニ

綱目

一名荷 草芙蓉 水花

牽牛子

本艸

和名阿佐加保 薪と書く別種ナリ薪モ木槿を云

綱目

一名黑丑白丑 金甌艸 草金鈴 狗耳草

牡丹

本艸

神農 唐山にて花王と称モ和名ムリミ又甘日名名ニリ

綱目

一名富貴花 龍姑鹿韭 百兩金 木芍藥

猿猴

本漢名

未詳

梅茂登木

正字

未詳

水仙

本艸

一名金盞銀臺 儂蘭 雅蒜 雅客 姜花 姚女兒花

綱目

又ちあたま

梅

本艸

眾古字 楠氏 萬葉ニ宇木又牟女アマタニえたり

綱目

一名百花魁 又好文木の稱あり種類最多一唯宇女との移すナリ白梅ナリ

五鬚松

五雜

一名五釵松 五粒松 松子松 華山松 五鬚松

綱目

欵冬

本草

一名欵凍 顆凍 氏冬 鑽凍 菴矣 虎鬚

綱目

廿

木艸

古歌ナリ乎花又波奈須ナ木ナドヨタナリ薄之字を用ナリ俗ナリ

女郎花

本草

新撰万葉ニモ女倍芝ト書リ

萩

本艸

萬葉ニ棒又茅子花アキ書リ 和名 芳宜草 鹿名草

綱目

桔梗

本艸

和名抄ニ阿里乃比布木トナモ又アリノヒコト本艸又レバニモ

綱目

桔梗

新撰

誤り起リテ說モ桔梗の名ニ朝開くのナツナギ也非ナリトニ今木槿トする怪作ナリ有

綱目

真蘭也アラキナ又熱尾香

廿

新撰

古歌ニ葉のゆモナチナカマト説ニ今ニ葉ニ上古頭ミナリニモ皇國ハ中古葉の觀賞也

綱目

瞿麥

本艸

常夏古ナシニモニト云々深殿大后壯くわセ時権子御ト申セ

綱目

権子花トナシニモ常夏ト唱ナシト神原玄輔の説ナシ

廿

本草

一名蓮麥 大蘭 南天竺草 巨甸麥 洛陽花

綱目

瞿麦ニ即石けナリ今葩のめぐり刻齒有て切又アモ瞿麦トニ切义ナリムニ石キトス

葛クズ
本艸 綱目 和名 久須加豆良
一名 雞齋 鹿藿 黃斤

一葉バラン
琉球國 琉球志畧 一名馬耳蘭 一帆青 一帆旗 但三名共作名ナリ
又葉菜也花方公知トサルの稱 馬耳蘭 単きの称或ハ大ナリの称セサシ用ヒケテ

連翹レンギョウ
和名抄ニ以多知久佐 云以太知波勢
一名 三廉草 本綱

芍藥シヤクナツ
本艸 綱目 和名抄ニ衣比須久須里 又沼美久須里
一名 將離 梨尾春 吐錦 嫌客 摘香瓊 冠芳 雖友 玉盤孟 何離 梨食 餘客 錄

又貞好草 牡丹 小牡丹 千瓣 云此三名を和製の名ナリ

芭蕉バセウ
本艸 綱目 和名 にちみく

芭蕉バセウ
本艸 綱目 一名 甘蕉

八朔梅

うめの一種ナリ

蘆鐵ラヂ
此樹琉球ナリ出3トト月令廣義ニ見ステ彼土ニモ鐵持トス

又白シムも琉球ナリモロクナリ此樹ナリト付んヒノ付サシヨ打カバ則付ナ

故ニニ種族トクシモ蘆リ回生の義ナリ

一名鳳尾蕉 又番蕉庄

鷄冠木

モミジダ 葉2蝦夷手木と書リ又和名抄ミ加倍天之木 云加比留提乃木トシテ
又鷄頭樹 漢名槭樹 广鄭

櫟

木艸 綱目

長壽花

水曹清 暇錄 一名長春菊
和名福寿草 元日仲尼 又少くつる年

紫竹

木艸 綱目 俗寒竹

側金盞花

桂海虞 衡志 一名長春菊
和名福寿草 元日仲尼 又少くつる年

山茱萸

木艸 綱目 一名肉枣 雞足 懸實 鼠天 蜀酸枣

萍蓬草

木艸 綱目 和名抄ニ骨蓬トナリ川骨と書ニ俗也
異名水栗子 又水栗と

秋海棠

三才 圖繪 一名爛腸草 断腸花 瑰珞草 八月春

櫻

和名 佐久良也單子を本トナリ故ニキニ様トシニ葉トナシテヒトノ様モ
氣吹風含翁の説ニ佐久良也櫻の字を克ニモ甚古ニテ用ひ葉ヲトナシ打住テヒモ難ナリ
モドモナニトナシ葉の字トナシテ多々の事ヒ用ひて佐久良也熟叶アリ者

松

木艸 実采俱ニ古字

柳 ヤナギ 本艸 編目 和名之太里夜奈木
一名小楊 楊柳モク 釋氏呼曰尼俱律陀樹

薔薇 ヤエベニ 本艸 編目 和名無波良
一名牛勤 刺花 墻靡 山棘 牛棘 長春モク

菜花

觀音蓮 ミスバセウ 南寧府志

娑羅 セラ 又夏はさくと共々和名方言たり漢名大一

百合 ヨリカ 本艸 編目 一名摩羅 卷丹ヨリカ

山丹 ヒメユリ 本艸 編目

榔柳 ヨコリカ 本艸 編目 一多シニ次作系故ニ三春柳ヨコリカ

水楊 カバ 本艸 編目 一名青楊 蒲楊 楠柳 薩翁

番牡丹 ハボタニ

臺灣府志

淺葱水仙 アサギユリ 本艸 編目 水せんの一種あり

金絲桃 ヨウヤナギ 群芳 譜 俗ニビードロ柳トシ

豆 豆ニシテ 金雀花の字を充て年久一蘭山公羽是を號マトテ
桃桐遺筆ハ飛來鳳ヲ充て豆ニシテ亦有い

穀斗菜 コダマキサウ 故荒

棠梨 ヤマザクラ 本艸 編目 一名ヤマブリングゴ
京師より今世三四月の頃此嫩葉を賞めて専ら瓶花用ふ

躑躅 ツツジ 本艸 編目

蕪草 サンカクキ 本艸 編目 一名蕪草

棣棠花 ヤマブキ 本艸 萬葉ニ山吹又山振とも書ア歎冬ト書ア詔也歎冬も和名ヤマブキト言テ落の

一名地棠花 麻葉棣棠 金棣棠 黄棣棠 ひとえちよ金盆よりぬ古人得ア金盆喜水と言フ註を誤譲アトシテこれヒ羊翁の解
はす古書の單葉者名金盆喜水と言フ註を誤譲アトシテこれヒ羊翁の解

むさし ムサシ 天南星の一種ナキト
漢名未詳

鳳尾竹 ホウビ 本艸 編目 俗ニ鳳凰竹

集解

紅紫馨 サク
廣東新語

天女花 ヤマレンバ
雲南通志 俗大山蓮花

玉簪花 ヤボウシ
本艸 一名白鶴仙 白萼 李女 白鶴

矮檜 ハイドウジ
事言

溫壯丹 カンボ
乾隆御製集 又冬牡丹

落葉松 ヨーマツ
衛嶽 一名金錢松

濱菊 ハマキク
漢名未詳 吹上葉と云

翠菊 コケイク
群芳譜

茶梅花 サザンバ
本艸 群芳 一名烏園 紫蝴蝶 紫羅傘 紫羅欄花

茶梅花 サザンバ
本艸 群芳 左牟佐久波也 山茶類 別也 茶梅是之冬と盛り一山茶は春と盛りとする也

白藤花 ハクトウノク
本艸 漢名未詳 吹上葉と云

白藤花 ハクトウノク
本艸 群芳 一名海紅 臘識 遍地錦

鳶尾 ハクモクレン
本艸 群芳 和名 古夜須久佐

鳶尾 ハクモクレン
本艸 群芳

王蘭 エイラン
秘傳 花鏡 又木蓮

王蘭 エイラン
本艸 群芳

南天燭 ナムテンヅク
本艸 一名惟那木 男犧 猴菽艸 牛筋 烏飯草 墨飯艸 漆菽楊桐 又蘭天竹

八角金盤 ヤクモクレン
本艸 從新

射干 ヒアフキ
本艸 一名野萱花草 薑黃 達仙掌 紫金牛 烏扇 烏翫 烏吹 烏蒲 凤翼 鬼扇

彼岸櫻 ヒカゲザクラ
本艸 一名仙果花

又新正櫻と云
絆の左久らう先つてまみのは彼岸櫻のひよかくと以て名づけられ

桃 モモ
本艸 古事記ニ毛毛ニ意富加年豆美命と名をなすひー草又云

古欲うあやめとトウカモと澤うす菖蒲うて川柳あり

花菖蒲 ハナショウブ
本艸 古欲うあやめとトウカモと澤うす菖蒲うて川柳あり

又花あやめと云う一株あるあり漢名蘭蓀漢源などによれば其の花菖蒲は高さ二丈
瘦小にて且や一茎一花と云ふと得たうる事

豌豆 エンドウ
本艸 一名胡豆 豌豆丸豆 寒豆

人面竹 ホリイチク
本艸 簿言

通計八十種所出三四五之卷中也

跋

○題跋

壽余閑水谷君以瓶葦枝
名于家所著活花子引種後
編和詩一日訪余樂其名稱
且書其後余閑之其布置
整於向省曲打之活繁忙

大備於是喟然嘆曰物有
榮辱命也通塞豈唯人也哉
錐花亦然夫妖紅冶翠全
露搖風厖然亂聞者花之
常也今也西爲左、爲右
者不得左後者不名亦不如

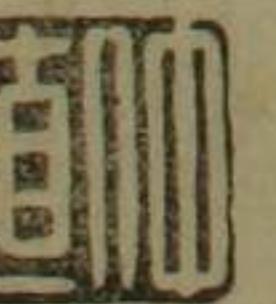
法者斬而立之者孫武子之
伍羨人譖兵也操枝曲榦
乍踈乍密肆詮自恣者木
之性也今也操之使直拔之
使聳一枝一葉并拄株坐者
叔孙通之令將士習禮也及至

高坐之上明憲之下華達文
兒寶瓶玉壺憩於阮加席
置以宜則花不榮矣朴而
君猶以為未足覃其恩渥
寵省之容顏題之名字上之
梨棗傳之久遠者亦從凌烟

麒麟之志之意也於是亦榮之
極也余於斯技固所不能也
今閱此卷只知其為花之葉
而已縱然重葉之厚之者自
人而言之也自花而至之則
告未知豈為榮為厚為幸

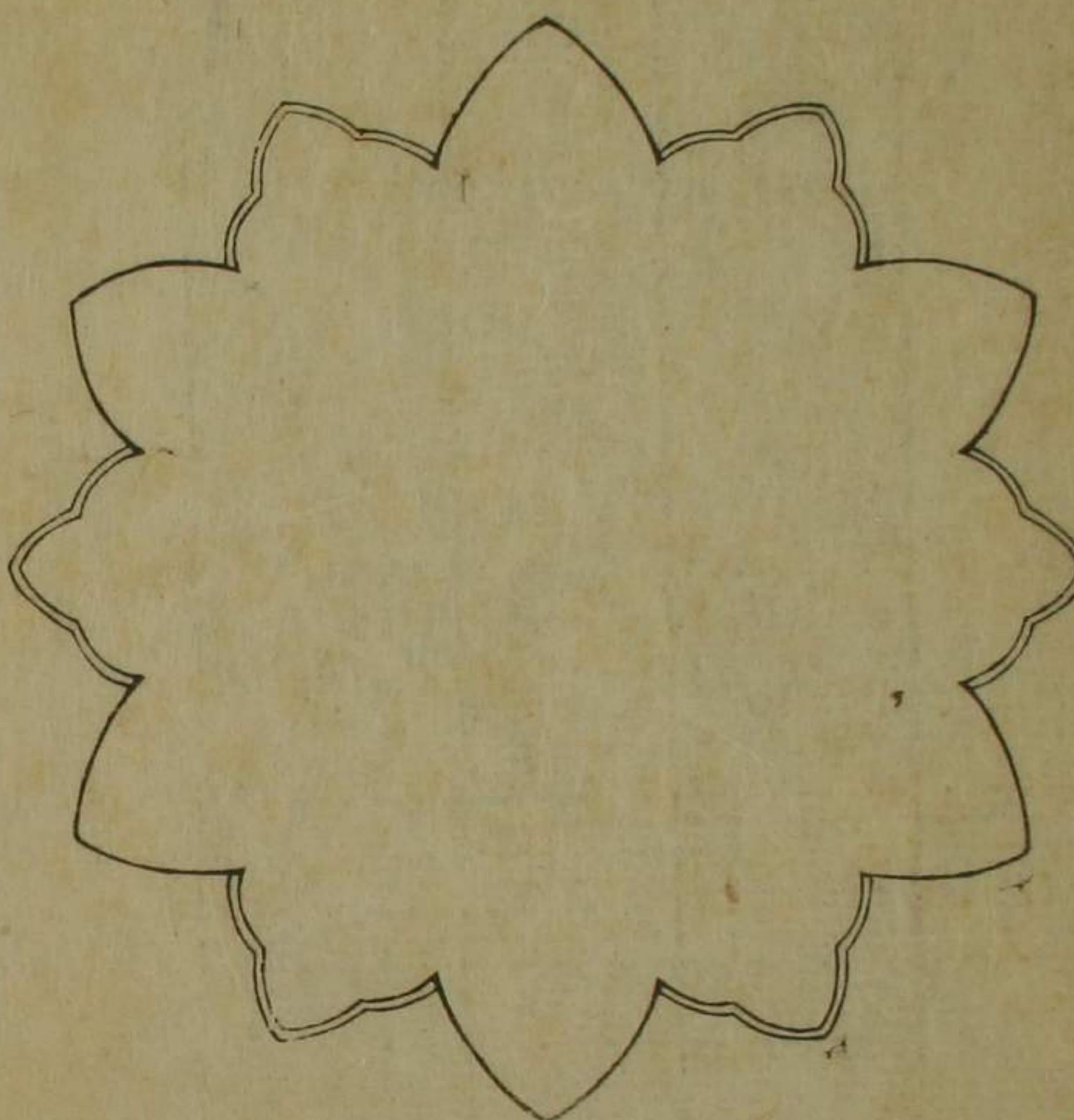
為不幸也吾將問之於花

止羊影



男秀夫書





津逮堂藏版

京都市三条通御幸町角

吉野屋 大谷仁兵衛

